

# 名鉄名古屋本線(桜駅～本星崎駅間連続立体交差) 環境影響評価方法書に係る説明会のご案内 ～ 環境影響評価方法書のあらまし～

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、名鉄名古屋本線の桜駅から本星崎駅間を連続立体交差化することで、交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに地域分断を解消し、地域の活性化を図ることを計画しています。

この度、名古屋市環境影響評価条例に基づき、調査・予測・評価を行う手法や環境保全のために配慮した内容等についてとりまとめた環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）を作成しましたので、その概要をお知らせいたします。つきましては、関係者の皆様に説明会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

## <目次>

連続立体交差事業について……………	P.2～4
環境影響評価について……………	P.5～6
方法書の縦覧・閲覧及び意見の提出について……………	P.7
方法書の説明会について……………	P.8



名古屋市

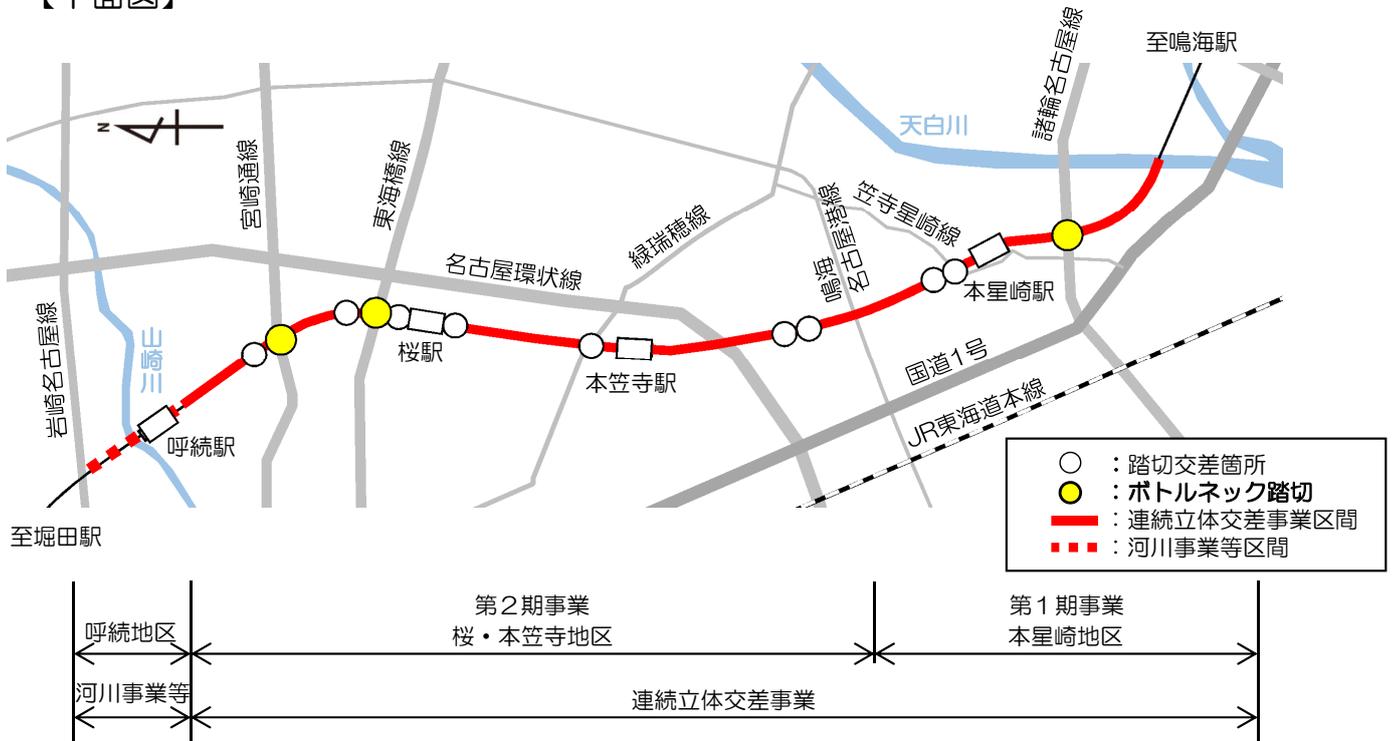
# 連続立体交差事業について

## 事業の概要

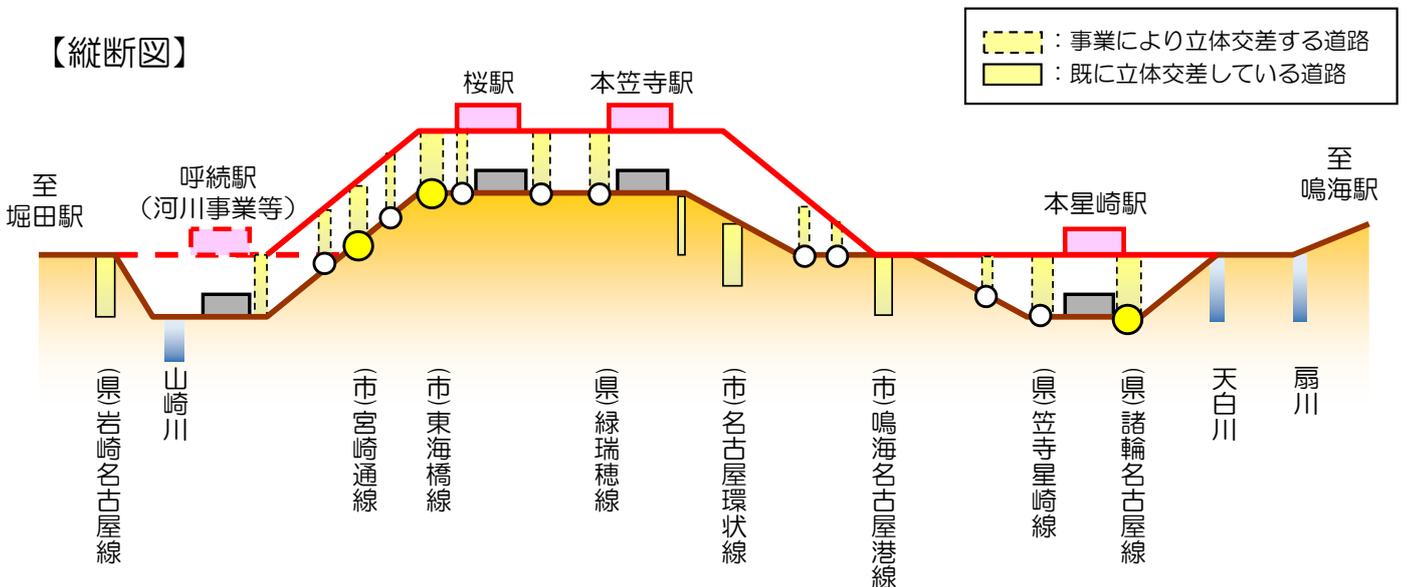
- 路線名 都市高速鉄道名古屋鉄道名古屋本線
- 事業延長 約3.9km
- 対象駅 桜駅・本笠寺駅・本星崎駅
- 構造形式 高架式
- 施工方法 仮線方式
- 除去踏切数 12箇所（うち自動車ボトルネック踏切3箇所）

## 概要図

【平面図】



【縦断図】



## 鉄道沿線の課題

### 交通

- 3箇所のボトルネック踏切
- 幹線道路における車線数の減少
- 踏切事故の発生



### 地域

- 不便な駅へのアクセス
- 鉄道による地域分断
- 不完全なバリアフリー



### 防災

- 木造住宅密集地域
- 狭隘な道路



現状の課題点を解消するため当該区間の鉄道高架化を実施

## 連続立体交差事業による効果

【高架実施前】



【高架実施後】



踏切の除却により、渋滞が解消され、安全性が向上します。

【高架下の利用】



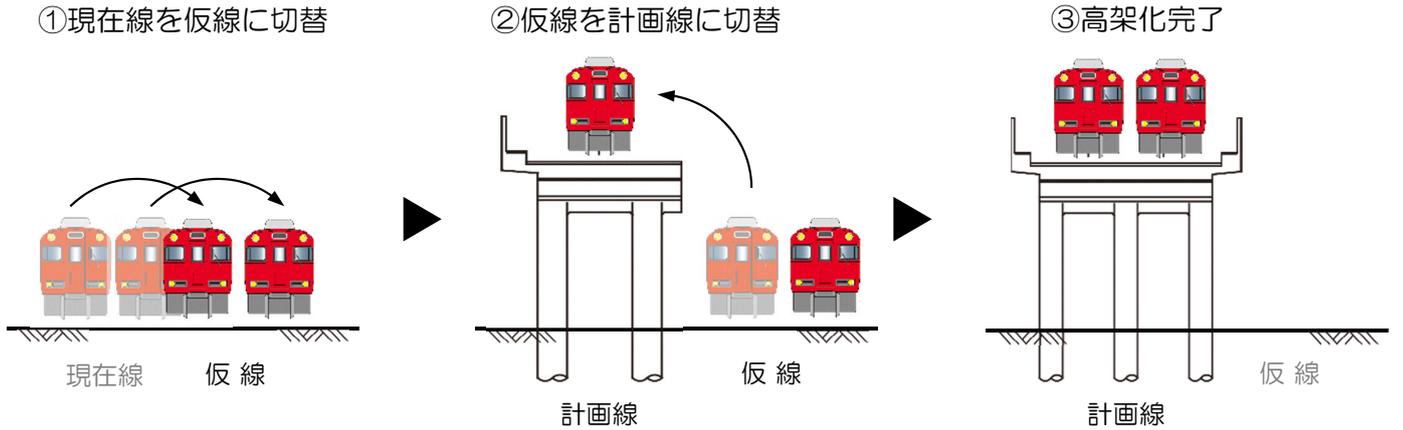
【側道の整備】



自転車駐車場などが整備されるとともに、側道が整備され利便性が向上します。

# 仮線工法の概要

仮線工法は、現在線の隣に仮の線路を敷設し、高架構造物を現在線跡地に構築する工法です。

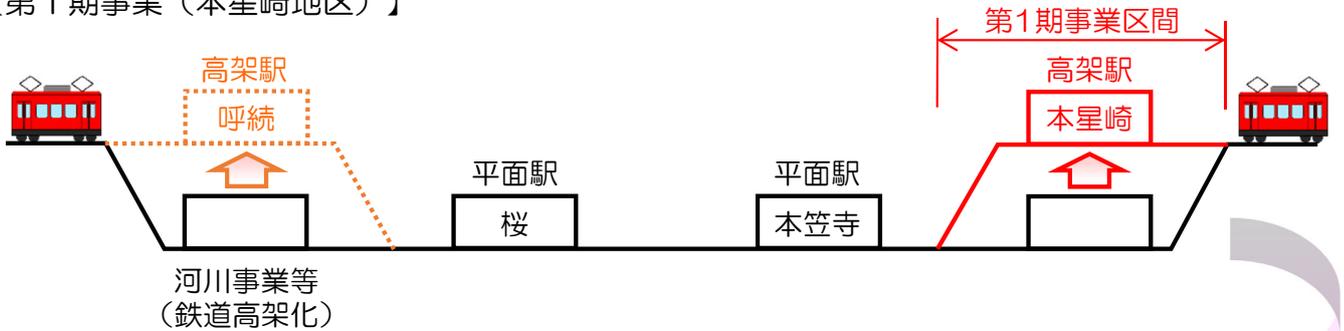


# 事業スケジュール

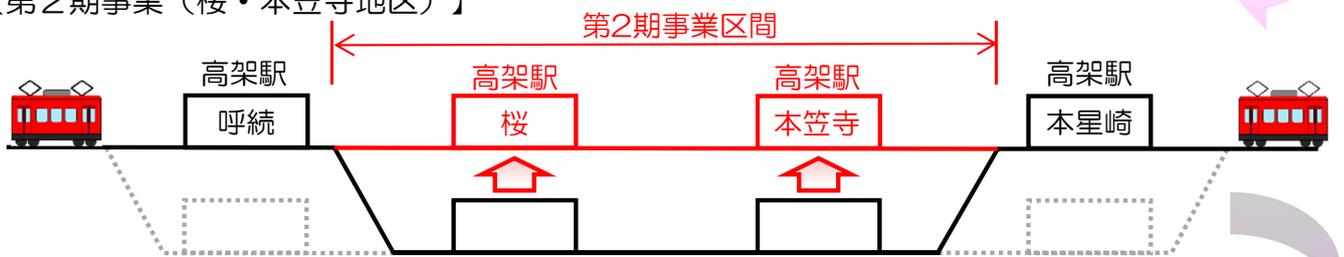
本事業は、下記のスケジュールを予定しています。

認可取得以降	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	35年目
桜・本笠寺地区				第2期事業 用地取得～鉄道工事～高架切替～側道整備			
本星崎地区	第1期事業 用地取得～鉄道工事～高架切替～側道整備						

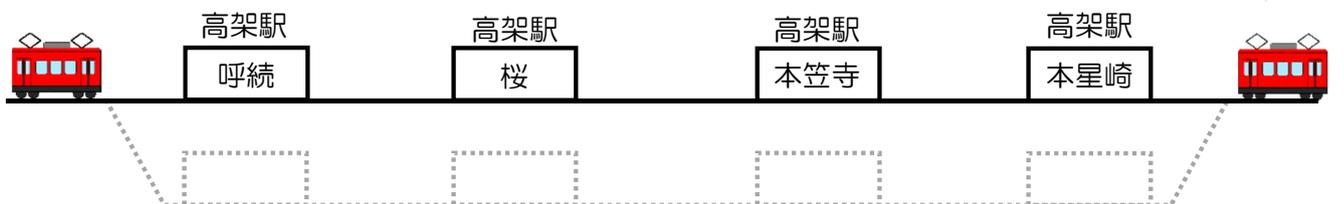
## 【第1期事業（本星崎地区）】



## 【第2期事業（桜・本笠寺地区）】



## 【事業完了】

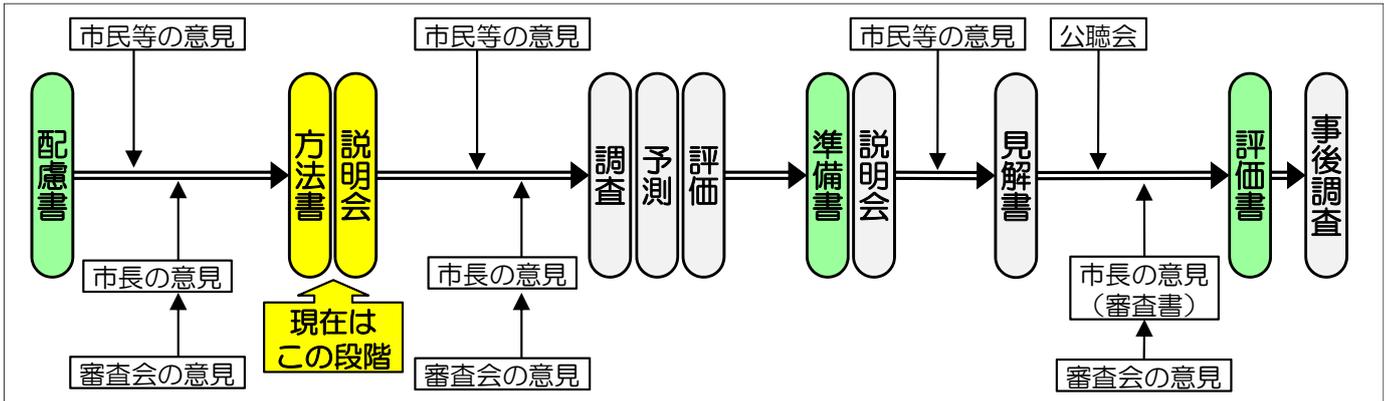


# 環境影響評価について

環境影響評価（環境アセスメント）とは、大規模な事業を行う場合に、周辺の環境にどのような影響を与えるかを事業者が事前に調査、予測、評価するとともに、その結果を公表し、一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、事業計画に反映させることによって、より環境に配慮した事業にしていくことを目的とした取り組みです。

## 環境影響評価手続きの流れ

方法書は、調査・予測・評価を行う手法や環境保全のために配慮した内容等についてとりまとめたものです。



## 環境影響評価の項目

以下の表内の「●」のある項目について、環境影響評価（調査・予測・評価）を行います。

環境要素	影響要因	工事中					存在・供用時		
		土地の 改変	現在線 の撤去	建設 機械の 稼働	工事関 係車両 の走行	列車の 仮線 走行	鉄道 施設の 存在	列車の 走行	鉄道 施設の 供用
大気質	二酸化窒素			●	●				●
	浮遊粒子状物質			●	●				●
騒音	建設作業騒音			●					
	道路交通騒音				●				●
	鉄道騒音					●		●	
振動	建設作業振動			●					
	道路交通振動				●				●
	鉄道振動					●		●	
日照障害	日影						●		
電波障害	テレビ電波障害						●		
安全性	交通安全				●	●			
廃棄物等		●	●						
植物	重要な種・群落	●					●		
動物	重要な種	●					●		
	注目すべき生息地								
生態系	地域を特徴づける生態系 に応じた注目種等	●					●		
		●					●		
緑地		●					●		
景観	主要な眺望点からの景観						●		
人と自然との触れ合いの活動の場		●					●		
文化財	有形文化財、埋蔵文化財	●							
温室効果ガス等	温室効果ガス			●	●				●

# 調査・予測・評価の手法

## ◆調査・予測の手法

調査は、前ページの表の項目について、既存資料調査及び現地調査を行います。

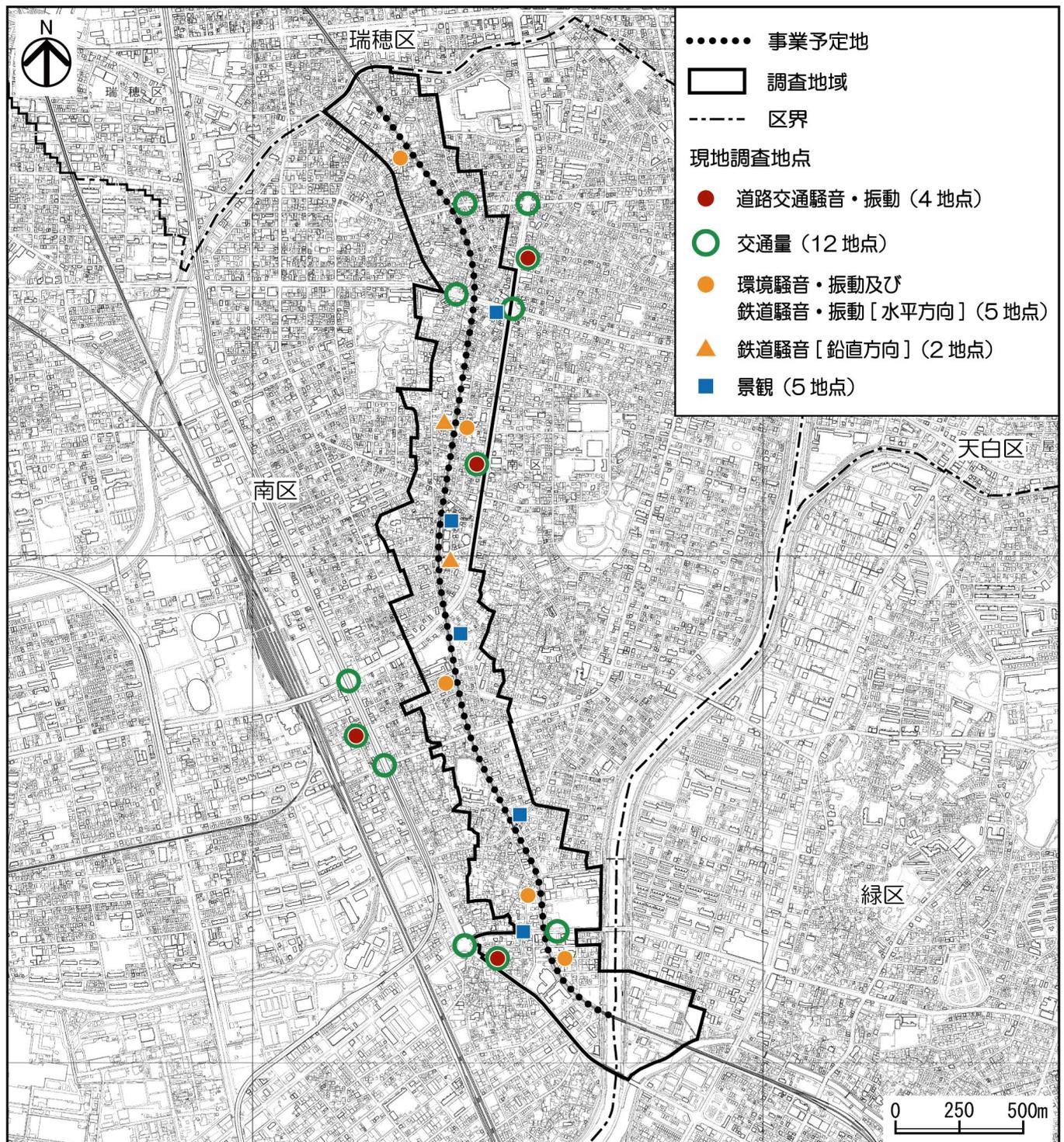
予測は、調査結果及び事業計画等を踏まえ、周辺環境に及ぼす影響について、数値解析等の予測手法を用いて行います。

## ◆評価の手法

調査及び予測の結果を踏まえ、事業実施による環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているか、環境の保全について適切に配慮されているかを検討・評価します。

また、国や自治体により基準又は目標・指針等が示されている場合には、それらを満たしているかを検討・評価します。

### 【現地調査地点】



## 方法書の縦覧・閲覧について

下記に示す場所で方法書をご覧いただけます。（本書はその「あらまし」です）

期間：令和2年1月7日（火）～ 令和2年2月5日（水）

場 所	時 間
名古屋市環境局地域環境対策課 （市役所東庁舎5階）	午前8時45分～午後5時15分 【日曜日、土曜日及び祝日を除く】
名古屋市住宅都市局街路計画課 （市役所西庁舎4階）	
南区役所 （南区前浜通3丁目10番地）	
緑区役所 （緑区青山二丁目15番地）	
名古屋市環境学習センター （中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階）	午前9時30分～午後5時 【月曜日（祝日の場合は翌火曜日）を除く】
名古屋市南生涯学習センター （南区東又兵衛町5丁目1番地の10）	午前9時～午後9時 （日曜日及び祝日は午後5時まで） 【第2水曜日、第4月曜日を除く】

- ・名古屋市公式ウェブサイト（<http://www.city.nagoya.jp/>）の「環境アセスメント」のページでもご覧いただけます。

## 意見の提出について

方法書に対して、環境の保全の見地からの意見を郵送、持参又は電子メールで提出いただけます。

- ・期間 令和2年1月7日（火）～ 令和2年2月20日（木）（必着）
- ・記載事項 ①方法書の名称 ②住所・氏名 ③環境の保全の見地からの意見
- ・郵送・持参 〒460-8508  
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
名古屋市環境局 地域環境対策課 環境影響評価係
- ・電子メール [asesu-iken@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp](mailto:asesu-iken@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp)

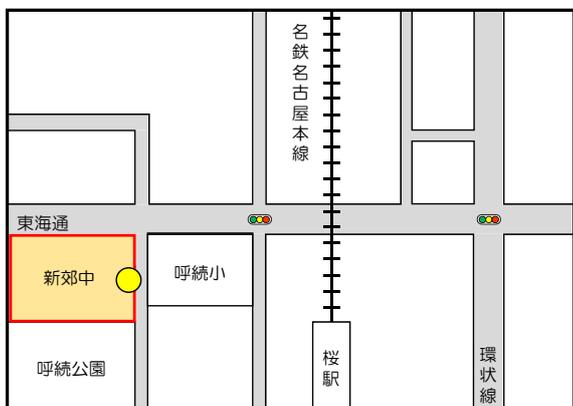
# 方法書の説明会について

下記に示す日時、会場において方法書の説明会を開催します。

	日 時	会 場
①	令和2年1月23日（木） 午後7時00分～8時30分	新郊中学校 体育館
②	令和2年1月25日（土） 午前10時30分～12時00分	南区役所 講堂
③	令和2年1月27日（月） 午後7時00分～8時30分	笠寺小学校 体育館

## 会場案内図

- ① 新郊中学校 体育館  
(住所：南区呼続四丁目4番8号)



- ② 南区役所 講堂  
(住所：南区前浜通3丁目10番地)



- ③ 笠寺小学校 体育館  
(住所：南区本星崎町本城765番地)



- 説明会会場  
● 敷地内出入口

### 【注意事項】

- 全日とも説明内容は同じです。
- 開始30分前からお入りいただけます。
- 説明会会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- 会場は寒くなりますので、暖かい服装でお越しください。

### 《お問合せ・連絡先》

名古屋市住宅都市局 街路計画課 施設計画係  
〒460-8508  
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
TEL 052-972-2729 FAX 052-972-4164

このパンフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。